



中国・内モンゴル出身

海阿虎さん

松江市乃木福富町にある小松電機産業株式会社で製造業務に携わる傍ら、故郷の民族楽器である馬頭琴を演奏し、その音色で多くの人を癒している。中国・内モンゴル自治

区出身の海阿虎さん(28)。島根にやってきて四年、こちらでの生活にもかなり馴染んでいる様子だ。内モンゴル師範大学を卒業後、同郷の友人からの勧めもあり、日本への留学を決意。二〇〇八年に島根大学に入学した。島

島根と故郷を結ぶ役割を

根に着いた時の感想は「なんて暑いんだ」。当初は日本語も満足に話せず、コミュニケーションに困っていたという海さん。次第に環境にも慣れ、友人も増えてくると、活動の輪も広がっていった。伝統的な衣装をまとい、馬頭琴を手に県内各地で演奏活動をスタート。学生時代より少なくなつたものの、現在でも月一、二回のペースで福祉施設を中心に演奏を行っている。

今年同大大学院を卒業し、同社へ入社。同社は韓国・ソウルに子会社である「KOMATSU KOREA」を設立しており、「今後の中国への展開など、よりグローバルな会社となれるよう、貢献したい」と語る。

「島根に来る中国人を増やし、中国に行く島根の人を増やしたい」と、島根と故郷を結ぶ役割を果たしたい考えだ。